

# 2020

## Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2020年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 庵 栄伸  
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博  
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2020年3月期・営業のご報告)」をお届けいたします。本誌では、2020年3月期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

私ども地域金融機関を取り巻く経営環境は、人口減少や少子高齢化の進行、超低金利環境の長期化、他業態との競合の激化などに加えて、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた景気急減速から、その厳しさを増しております。

こうした環境のなか、当社グループは、2019年4月よりスタートした中期経営計画『ALL for the Region』の3つの基本方針「地域社会発展への貢献」「未来への進化・変革」「グループ総合力の発揮」のもと、グループ全役職員が「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献し、地域と私どもの共通価値を創造すべく、一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月

## 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

### 地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

### 公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

### 進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

## 目次

ごあいさつ .....	01
中期経営計画 .....	02
業績ハイライト .....	03
グループの概要 .....	07
ネットワーク .....	08
ESG・SDGs .....	09
株式のご案内 .....	14

中期経営計画の概要

# 『ALL for the Region』

2019年4月～2022年3月

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、  
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



3つの基本方針

地域社会  
発展への  
貢献

共に課題に向き合い、地域とお客さまの発展に資するソリューション提供に努める。

未来への  
進化・変革

技術革新やニーズの変化を捉えた金融サービスを提供しお客さまの期待に応える。

グループ  
総合力の  
発揮

グループ連携を強化するとともにグループ最適の推進・管理体制を構築する。

共通  
価値の  
創造

重点指標

	2018年度 実績	2019年度 実績
本業利益 (2行合算)*	180億円	169億円
当期純利益 (連結)	243億円	202億円
自己資本比率 (連結)	9.09%	8.94%
OHR (2行合算)	68.85%	69.27%

\*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

## 営業の概況

## ■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2020年 3月期	前 期 比	2019年 3月期
経常収益	1,824	△ 12	1,836
経常利益	316	△ 36	353
親会社株主に帰属する当期純利益	202	△ 41	243
自己資本比率	8.94%	△ 0.15%	9.09%

## ■ 北陸銀行・北海道銀行 &lt;2行合算&gt;

(単位: 億円)

	2行合算		
	2020年 3月期	前 期 比	2019年 3月期
経常収益	1,635	△ 22	1,657
コア業務粗利益	1,232	△ 24	1,257
経費(臨時処理分を除く)	853	△ 11	865
コア業務純益	378	△ 12	391
除く投信解約損益	345	△ 24	370
与信費用	120	74	46
経常利益	314	△ 52	367
当期純利益	208	△ 57	266

(単位: 億円)

	北陸銀行		
	2020年 3月期	前 期 比	2019年 3月期
経常収益	885	△ 17	902
コア業務粗利益	668	△ 22	691
経費(臨時処理分を除く)	457	△ 7	464
コア業務純益	211	△ 15	226
除く投信解約損益	199	△ 12	211
与信費用	92	64	28
経常利益	177	△ 44	221
当期純利益	112	△ 43	155
自己資本比率	8.59%	△ 0.20%	8.79%

当社における2020年3月期の業績につきましては、連結経常収益は前期比12億円減少の1,824億円、連結経常利益は前期比36億円減少の316億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比41億円減少の202億円となりました。

連結自己資本比率は8.94%となりました。

2行合算では、経常収益は前期比22億円減少の1,635億円となり、当期純利益は前期比57億円減少の208億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前期比17億円減少の885億円となり、当期純利益は前期比43億円減少の112億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前期比5億円減少の749億円となり、当期純利益は前期比14億円減少の95億円となりました。

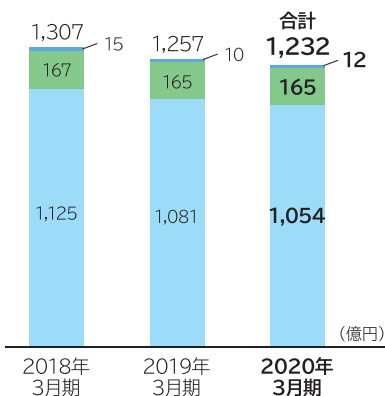
(単位: 億円)

	北海道銀行		
	2020年 3月期	前 期 比	2019年 3月期
経常収益	749	△ 5	755
コア業務粗利益	563	△ 1	565
経費(臨時処理分を除く)	396	△ 4	401
コア業務純益	167	2	164
除く投信解約損益	146	△ 12	159
与信費用	27	10	17
経常利益	137	△ 7	145
当期純利益	95	△ 14	110
自己資本比率	8.76%	0.07%	8.69%

## 損益の状況

## ■ コア業務粗利益&lt;2行合算&gt;

■ その他  
■ 役員取引等利益  
■ 資金利益



資金利益 **1,054億円**

貸出金利息、有価証券利息配当金の減少により、前期比27億円減少しました。

役員取引等利益 **165億円**

保険販売手数料の減少などがありました。全体では前期並みとなりました。

その他 **12億円**

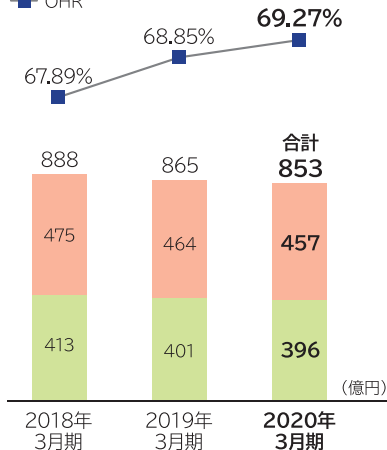
外国為替売買利益の増加により、前期比2億円増加しました。

コア業務粗利益 **1,232億円**

上記の結果、前期比24億円減少しました。

## ■ 経費&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行  
■ OHR

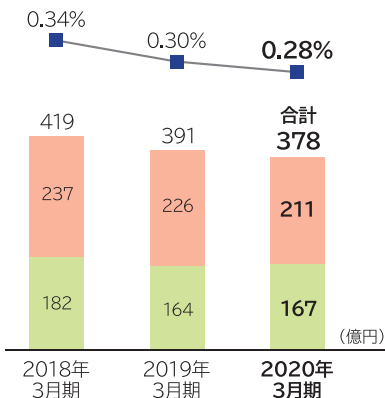


経費 **853億円**

人件費の減少により、前期比11億円減少しました。

## ■ コア業務純益&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行  
■ ROA

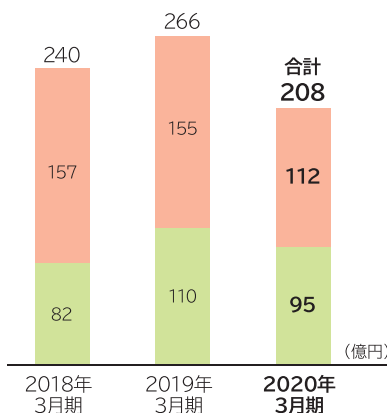


コア業務純益 **378億円**

コア業務粗利益の減少を経費の減少で一部カバーし、前期比12億円減少となりました。

## ■ 当期純利益&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行

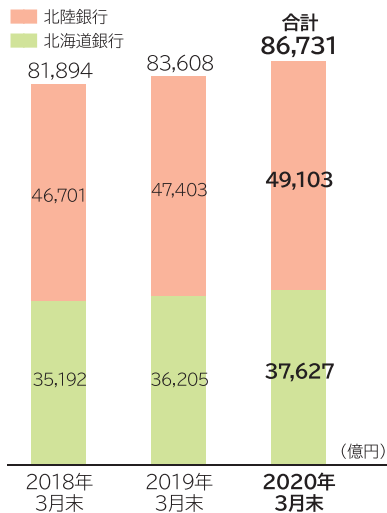


当期純利益 **208億円**

与信費用の増加などにより、当期純利益は前期比57億円減少しました。

## 貸出金・預金等の状況

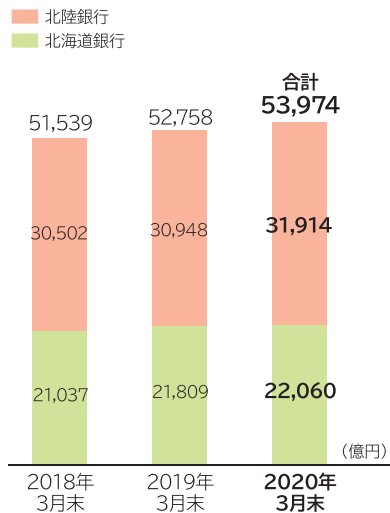
## ■ 貸出金&lt;2行合算&gt;



貸出金  
**8兆6,731億円**

個人ローンを含む  
中小企業等向け貸出  
の増加により、前期末  
比3,122億円増加し  
ました。

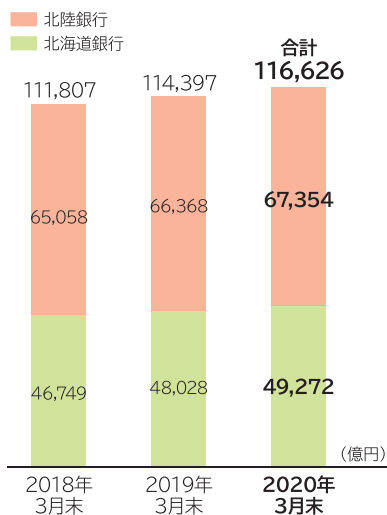
## ■ 中小企業等貸出&lt;2行合算&gt;



中小企業等貸出  
**5兆3,974億円**

地域の資金需要を  
積極的に取り込んだ  
結果、前期末比1,215  
億円増加しました。

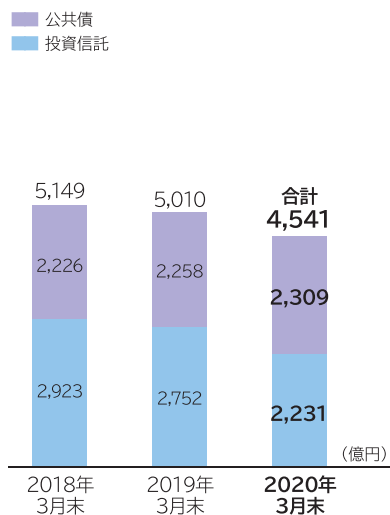
## ■ 預金(含む譲渡性預金)&lt;2行合算&gt;



預金(含む譲渡性預金)  
**11兆6,626億円**

個人預金を中心に  
増加し、前期末比  
2,229億円増加し  
ました。

## ■ 個人預かり資産(公共債、投資信託)&lt;2行合算&gt;



個人預かり資産  
**4,541億円**

新型コロナウイルス  
感染症拡大の影響に  
よる株式市場の下落  
等もあり、投資信託が  
減少したことから、前  
期末比469億円減少  
しました。

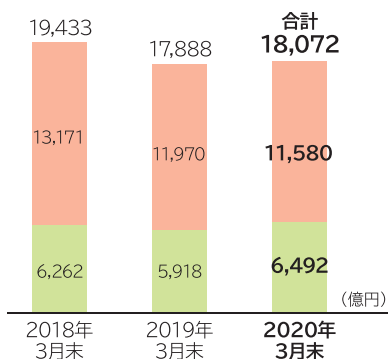
## 有価証券残高・健全性の指標

## ■ 有価証券残高&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行

有価証券残高  
**1兆8,072億円**

有価証券残高は、国債の償還等により残高が減少した一方で、地方債や外国証券、投資信託等へ分散再投資を図り、2行合算で前期末比183億円増加しました。

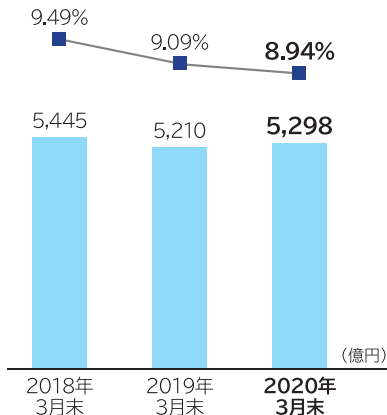


## ■ 自己資本比率&lt;FG連結&gt;

自己資本  
自己資本比率

自己資本比率  
**8.94%**

2019年10月1日に第1回第5種優先株式537億円の10%を一部償還させていただきましたが、利益剰余金の積み上げにより、FG連結で前期末比0.15ポイント低下の8.94%と、8%台後半を確保いたしました。



## ■ 金融再生法開示債権&lt;2行合算&gt;

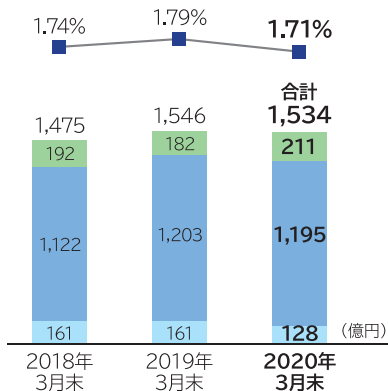
要管理債権  
危険債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率

金融再生法開示債権  
**1,534億円**

前期末比12億円減少しました。

開示債権比率  
**1.71%**

前期末比0.08ポイント低下しました。



## ■ 格付

格付投資情報センター  
**R&I**



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

## 銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株  
第1回第5種優先株式 96,698,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2020年6月23日現在)

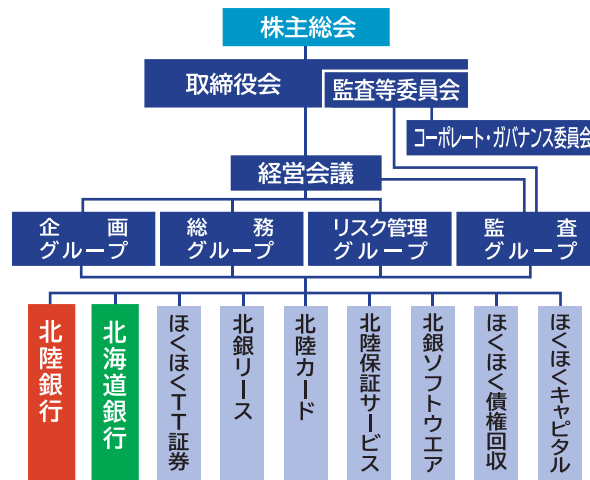
役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	加地 賢幸
取締役副社長	笹原 晶博	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	麦野 英順	取締役監査等委員(社外)	川田 達男
取締役	兼間 祐二	取締役監査等委員(社外)	中川 了滋
取締役	中澤 宏	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥

- 従業員の数 専任者5名
- 設立日 2003年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
コーポレート・ガバナンス委員会	社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ  
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号  
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務  
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図 (2020年6月23日現在)



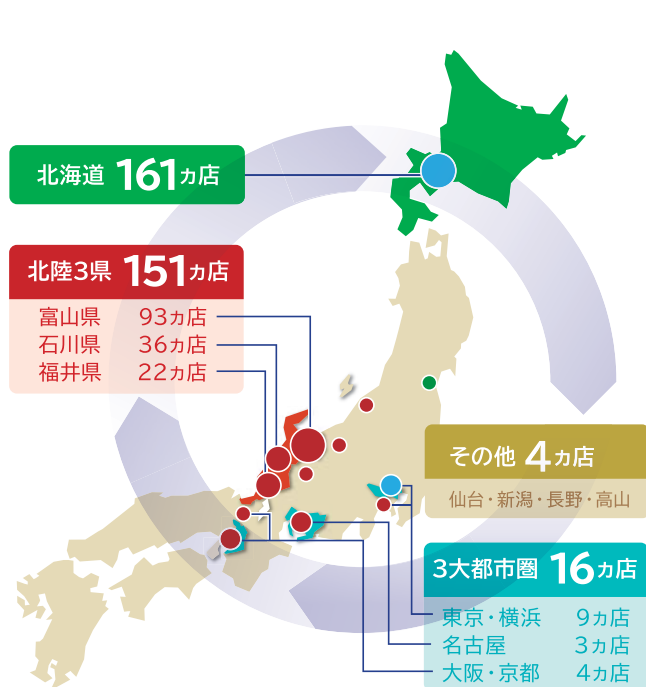
■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。



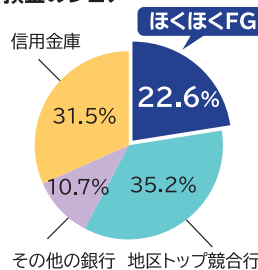
## 広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

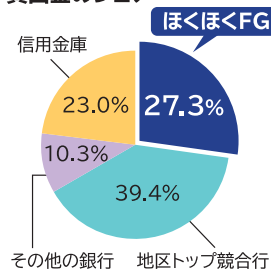


### 北海道内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア

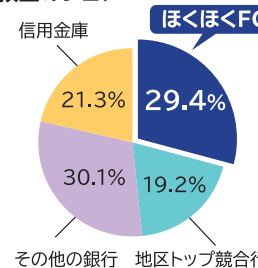


#### 貸出金のシェア

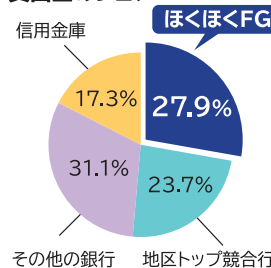


### 北陸3県内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア



#### 貸出金のシェア



※シェアは、2019年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。  
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

## グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- ① ニューヨーク駐在員事務所
- ② ロンドン駐在員事務所
- ③ バンコク駐在員事務所
- ④ シンガポール駐在員事務所
- ⑤ 上海駐在員事務所
- ⑥ 大連駐在員事務所
- ⑦ 瀋陽駐在員事務所
- ⑧ ウラジオストク駐在員事務所
- ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として2019年4月1日「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

## ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。














2019年4月1日

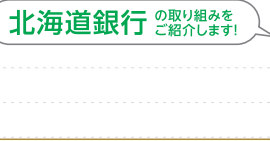
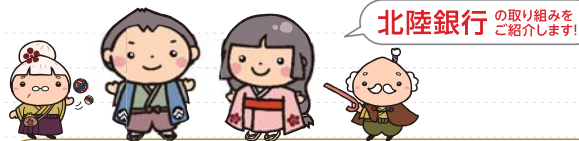
株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

取締役社長 庵 栄 伸

## CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	<b>持続可能な地域社会の実現</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する</li> </ul> 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める</li> </ul> 
	<b>地域における金融リテラシーの向上</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する</li> </ul> 
公正堅実	<b>健全で強靱な経営基盤の構築</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する</li> </ul> 
	<b>すべてのお客さまにとっての利便性の向上</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める</li> </ul> 
進取創造	<b>生産性向上に繋がる職場づくり</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む</li> </ul> 



## 持続可能な地域社会の実現

### 北陸銀行 金融機関連携プラットフォーム「Hokuriku Big Advance」運用開始

11月、地域企業の経営支援強化を目指し、金融機関連携プラットフォーム「Hokuriku Big Advance」のサービスを、北陸の地域金融機関で初めて導入しました。

「Hokuriku Big Advance」は、お客さまご自身でインターネット上のサイトにアクセスして利用いただく経営支援プラットフォームです。全国の金融機関が次々に導入を進めており、会員同士が地域を越えて、広域でつながるものです。大手企業や会員同士によるビジネスマッチングサービスをはじめ、大企業と新たな技術や未来の新事業が創出できるオープンイノベーション、補助金・助成金情報などを入手できる情報・メディア機能といった多様なサービスを備えています。地域から生まれる新たな技術やサービス、未来の新事業創出の実現を支援してまいります。



### ほくほくFG SDGs私募債の取扱開始

11月、北海道銀行において「道銀SDGs私募債」の取り扱いを開始、北陸銀行でも2018年11月より「<ほくぞん>寄贈型SDGs私募債」を取り扱っております。お客さまが私募債を発行する際に、銀行が受け取る手数料の一部をお客さまが指定するSDGsに資する活動を行う団体・基金等へ、銀行から寄付を行うものです。本商品を通してSDGsに関心のある企業と連携し、地域経済、地域社会の持続的発展を目指します。

### 北海道銀行 X-Tech Innovation 2019を開催

12月、急速に発展する様々なテクノロジーに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテスト最終選考会を開催しました。本コンテストは、昨年度共同開催したふくおかフィナンシャルグループ・沖縄銀行・七十七銀行の4行・4地域で開催したものです。本コンテストを通じてスタートアップ企業のビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用の可能性を模索し、地域経済の活性化に貢献してまいります。なお、今回は、特別プレゼンの時間を設け発表した学生チームに対し「地方創生特別賞」「SDGs特別賞」を贈呈しました。



### 北海道銀行 経営お役立ち情報セミナーを開催

1月、地域企業の生産性向上を目的として、「経営お役立ち情報セミナー ～サービス体験編～」を開催しました。本セミナーでは、業務の自動化、マニュアルの簡易作成、経費計算等サービスの事業者が人手不足や社内の業務効率化を課題と感じている地域企業に対し、体験ブースや導入事例を盛り込んだ情報提供を行いました。



### 北陸銀行 災害時緊急充電スポットを設置

3月、災害発生による停電等の緊急時に備える携帯電話の充電スポットを富山県内の23カ店に設置しました。ATMコーナーに臨時のコンセント、充電機器を設置し、一度に24台の携帯電話の充電ができるものです。

北陸銀行では、2012年2月にATMを搭載した移動相談車を1台配置し、災害発生時の現金引き出しや充電スポットの提供に

備えておりましたが、これに替えて、より広範囲の地域で緊急時要請に即応できるように、複数の店舗で充電スポットを無料提供することといたしました。

今後は、対象店舗を県外にも拡大してまいります。



## 地域における金融リテラシーの向上



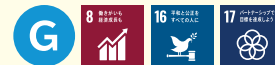
### 北海道銀行 公的年金試算ツールの提供開始

1月、三井住友海上あいおい生命保険株式会社が提供する「撮るだけねんきん試算」および「公的保険・公的年金試算シート」

を利用した、公的年金および公的保険の試算サービスを開始しました。これにより、お客さまご自身が公的年金受給額を踏まえたうえで、老後に必要な資金の過不足を把握することができ、北海道銀行の窓口での保険コンサルティングも提供いたします。



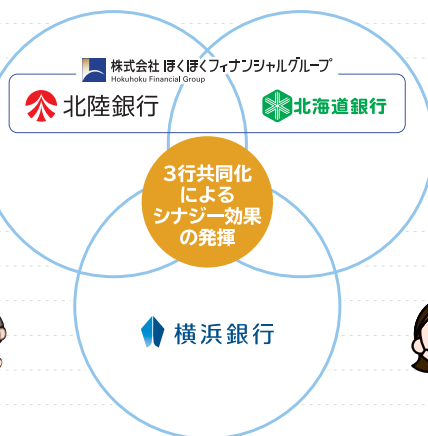
## 健全で強靱な経営基盤の構築



### ほくほくFG 外為事務3行共同化

コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行と、海外向けの送金や貿易取引など外国為替に関する事務を共同化することを決定しました。北海道銀行は11月から実施しており、北陸銀行も2020年度に実施を予定しております。

これまで基幹系システム「MEJAR」の共同運営を行い、ITコストの低減などを図ってきましたが、外国為替に関する事務を共同化することにより、3行のノウハウを共有しながら、リスク管理の向上とコストの削減を両立した持続可能な外国為替事務処理体制のモデル構築につなげてまいります。



## すべてのお客さまにとっての利便性の向上



### 北陸銀行 ほくぎんファボーレプラザ新規開店

10月、富山市にある大型ショッピングセンター「フューチャーシティファボーレ」の増床リニューアルオープンに伴い、「ほくぎんファボーレプラザ」(速星支店ファボーレプラザ出張所)を新規開店しました。休日を含め毎日20時まで営業しており、相談ブースや商談室、キッズスペースも充実し、資産運用や相続のお悩みなど、お客さまがゆっくりとご相談していただける店舗です。また、住所変更や名義変更といった諸届についても受付しています。平日や日中のご来店が難しいお客さまにも便利にご利用いただけます。



### ほくほくFG 「ほくほくPay」のサービス開始

11月、「スマホ決済サービス『ほくほくPay』」の取り扱いを開始しました。

「ほくほくPay」は、個人のお客さまが契約加盟店でお買い物の代金を支払う際、スマホアプリを操作しQRコードを読み取ることで、あらかじめ登録した銀行口座から代金が即時に引き落とされ支払いが完了するサービスです。売上代金は、後日加盟店の銀行口座に入金されます。

事前のチャージやクレジットカードの登録が不要で、財布やクレジットカードを持ち歩かなくてもスマートにお買い物ができます。

「ほくほくPay」は、GMOペイメントゲートウェイ株式会社が提供する「銀行Pay」の基盤システムを利用しており、「銀行Pay」を導入する銀行との「マルチバンク決済」機能が順次利用可能となります。

引き続き地域のキャッシュレス化・デジタルバンキングの推進を通じて、お客さまの利便性向上に取り組んでまいります。



### ほくほくFG 住宅ローン「電子契約サービス」の取扱開始

北海道銀行では12月、北陸銀行では1月に、住宅ローンにおける「電子契約サービス」の取り扱いを開始しました。

窓口でタブレット端末へのご入力により紙の契約書における署名・押印と同等の法的効力のある電子署名が契約書に付与され、住宅ローンお借入時の契約締結が可能となりました。



決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="https://www.hokuhoku-fg.co.jp/">https://www.hokuhoku-fg.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ  
フリーダイヤル **0120-288-324**  
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

## ■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

### ① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> <li>証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社</li> <li>特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店</li> </ul>
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

### ② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

## ■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位：円)

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 (予定)
<b>44.0</b>	<b>44.0</b>	<b>44.0</b>	<b>40.0</b>	<b>35.0</b>

普通株式配当につきましては、前期比4円減配の、期末一括配当1株当たり40円とさせていただきます。



**株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ**  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

**株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ**  
〒930-8637  
富山市堤町通り 1丁目2番26号  
Tel: 076-423-7331  
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

**株式会社 北陸銀行**  
**経営企画部広報CSRグループ**  
〒930-8637  
富山市堤町通り 1丁目2番26号  
Tel: 076-423-7111  
<https://www.hokugin.co.jp/>

**株式会社 北海道銀行**  
**経営企画部広報CSR室**  
〒060-8676  
札幌市中央区大通西4丁目1番地  
Tel: 011-233-1005  
<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。  
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。